

平成24年度定例第3回理事会議事録メモ

期 日 平成25年3月23日(土) 10:00～

場 所 正田醤油スタジアム群馬 会議室

1 開 会 濱野副会長

2 あいさつ 中曽根会長

- ・各種競技大会等皆様のおかげで無事終了できた。
- ・NY駅伝、都道府県女子駅伝でいい結果だった。今後もジュニアの育成と合わせてよろしくおねがいしたい。

3 出席確認 (理事総数54名 出席43名、委任7名 計50名)

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協関係(武藤理事長)

・日本陸連

理事会において、栄賞関係、S級審判の承認について承認された。強化指定選手には本件選手の該当がない。

・関東陸協

事務局が栃木から山梨へ変わる。理事長が栃木の小堀さんから山梨の保坂さんへ変わる。会長は変わらず中曽根会長。

(2) 平成24年度各委員会度事業報告(年鑑により各委員長が説明)

総務委員会(田島委員長)

年鑑が、例年に比べて40ページ増。マスターズと小学生の記録が増えた。購入の協力をしてほしい。

財務委員会(綿貫委員長)

中体連から、26年度登録から、500円の登録費を1000円に値上げをしていきたいとの話があった。今後検討する。

競技運営委員会8(高橋委員長)

年間スケジュールが完了したので、確認してください。申込についても再度確認して、要項をよく読んで申込をするよう周知をお願いします。群馬リレーカーニバルの際に審判講習会を行う。

強化委員会(諸田副委員長)

都道府県駅伝女子が7位入賞した。年鑑に事業計画、国体候補選手案を掲載したので確認してください。

普及委員会

小学生を中心に底辺拡大を目指して事業を行った。全国クロカン交流大会で、例年のないハイレベルなレースの中でおおたスポーツアカデミーチームが4位に入賞した。来年度は、12月に全国交流大会が開催される。

(2) 中体連・高体連

・関東中学開催ではご協力ありがとうございました。全国中学駅伝では富士見中女子が優勝。来年度は関東選抜合宿が開催される。

・高体連

関東高校大会開催ではご協力ありがとうございます。来年度はよろしくをお願いします。

5 議長選出 ここで定款第36条により会長が議長となります。

6 協議事項

第1号 群馬陸上競技協会細則等について（事務局）

- ・年鑑にあるとおり実務用の細則等を定めました。

承認

第2号 平成25年度群馬陸上競技協会役員について（事務局）

- ・会長は、12月の理事会ですでに承認されていますが、細則により会長は中曽根弘文氏、監事は、鴻田通夫氏、磯部好和氏にお願いしたい。

承認

会長指名（敬称略）

- ・理事長、武藤 顕、副理事長、倉林輝生、永井正樹

理事長指名（敬称略）

- ・総務委員長 永井正樹
- ・財務委員長 綿貫成年
- ・競技運営委員長 高橋勝則
- ・強化委員長 安達友信
- ・普及委員長 中山 晃
- ・外部団体出向役員
日本陸連理事 武藤 顕
関東陸協理事 武藤 顕、村田 勇(高体連委員長)
県スポーツ協会理事 海野俊彦 評議員 武藤 顕
県スポーツ協会県民大会委員 高橋勝則
県スポーツ協会マネジメントコーチ 田中 光
県スポーツ協会ジュニア育成指導者 根岸佑弥（登利平AC）
県スポーツ協会指導者協議会理事 中村寧孝

・副会長の選出クラブ

中毛 前橋、伊勢崎

北毛 渋川、利根

西毛 高崎、碓氷

東毛 桐生、太田

学識経験理事 平方 亨 氏

以上 承認

第3号 その他（事務局）

- ・平成25年度予算案（別紙）

承認

議長解任

7 その他

（石北：渋川）審判員のはがきが出ていないがどうなっているのか。

（事務局）これから出すのでよろしくお願いします。

（海野副会長）県スポーツ協会が4月から公益法人として再スタートする。その際に国体種目にある加盟団体から会費とは別に1口5万円の賛助会費を求めることになった。

平成27年に冬季国体が開催される。その際に企業協賛をお願いして、選手の支援をしたいという趣旨である。

スポーツ関連の県の組織が改組されて、スポーツ健康課が分かれて、スポーツ振興課が知事部局にうつる。

国際交流事業が休止されて、その財源が冬季国体競技力向上費の一部に移る。

（理事長）日本陸連会長指定評議員として、中曽根会長と平方副会長が選出されている。

- ・体罰問題が、理事会においても重大な話題になっているので、指導者育成については十分留

意してほしい。

(事務局) スポーツファーマシストについて(別紙)

(海野副会長) 薬の問題については、新しい知識を持って取り組んでもらいたい。

8 閉会 角田副会長